

平成22年6月11日

各 位

岡崎信用金庫
理事長 大林市郎

不祥事件発生についてのお詫び

このたび、当金庫の元職員が、お客さまのご預金を不正に引き出し着服するという2件の事件が発覚いたしました。先般発生しました2件の不祥事件を踏まえて職員の身上調査等を進めている中で、発覚したものです。

このような事件を引き起こしましたことを、役職員一同深く反省いたしますとともに、お客さま、地域の皆さまに対しまして心よりお詫びを申し上げます。

当金庫としましては、今後かかる不祥事件を発生させないように、再発防止の取組みを徹底させ、役職員一体となりコンプライアンス意識の向上と内部管理態勢の充実強化に取り組んでまいります。

概要は、以下の通りです。

記

< 事件 1 >

発覚の経緯	職員の身上調査等を進めている中で、平成22年3月3日、被害者の方から預金取引内容について照会があり、内部調査したところ、お客さまの預金着服が発覚しました。
事件発生店	港支店、笠寺支店、小田井支店
当 事 者	当金庫関連会社に出向していた元職員 43歳 男性
発生期間	平成13年4月～平成22年3月（8年11ヵ月間）
事故金額	9,275万円
被害金額	3,637万円

< 事件 2 >

発覚の経緯	職員の身上調査等を進めている中で、平成22年5月24日、お客さまの預金着服が発覚しました。
事件発生店	安田通支店、東郷支店、碧南中央支店、大池町支店、瑞穂支店、刈谷支店
当 事 者	元ブロック長兼支店長 54歳 男性
発生期間	平成10年9月～平成22年4月（11年7ヵ月間）
事故金額	4,406万円
被害金額	0円（全額弁済されています）

その他、元職員による預金の着服か、個人的な貸借か、確定できない事案があります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
担当部署：リスク統括部法務管理室
電話番号：0564 25 7178
受付時間：午前9時から午後5時まで
（土・日・祝日を除く）

再発防止策

これまでの不祥事件発生の原因となった営業店における事務処理体制の不備や人事管理上の問題点について見直しを行い、以下の再発防止策について全役職員が一丸となって、今後、二度とこのような事件を発生させないよう取り組んでまいります。

1. 営業店における事務処理の厳正化と相互牽制機能の充実・強化

不正の機会となったお客さまとの取引時における事務処理手続きや管理など事務処理体制の強化策として、新たな現金受領確認ルールを設け、厳正な事務処理の徹底を図ります。

2. 適切な人事管理

不正に至る動機となる借入金や遊興費等の金銭問題について、職員の身上把握を強化し、適切な人事管理を行います。

3. 内部監査、店内検査機能の充実・強化

不祥事件の発生原因を踏まえ、監査項目や監査手法、検査項目の見直しを行い、監査・検査機能の充実・強化を図って不祥事件の未然防止や早期発見に努めます。

4. 法令等遵守態勢の整備・強化

全役職員がコンプライアンスに対する意識改革を図り、企業風土の体質改善に努めます。

コンプライアンスの基本方針

岡崎信用金庫
理事長 大林市郎

- 1 . 当金庫は、コンプライアンスを経営の最重要課題として位置付け、役員は、率先してコンプライアンスに取り組みます。
- 2 . 当金庫は、何よりも「コンプライアンス態勢の整備」に努め、「健全な職場環境の構築」を図り、「コンプライアンス態勢の機能」を発揮します。
- 3 . 当金庫の役職員は、最も大切な「信用」を維持するために、コンプライアンス・マニュアルおよび業務に関連する法令・規則・ルールを主体的に遵守します。